

最優秀賞（山口県知事賞） はあとふりい下関

代表者 山本 千栄子（地域づくり分野／下関市）

活動の動機・目的

代表者自身、交通事故のため肢体不自由の中途障害者となり、車椅子での生活を余儀なくすることとなった。5年後にやっと生活に慣れ一人で外出できるようになったが、思った以上に様々な障害があり、「買い物も高い所の商品は目も手も届かない」、「気に入った洋服があっても試着室が狭く、試着できない」等の状況で社会の現状は障害者にとってあまり優しくない。自分自身が自由に動いていた時のことを振り返ると、こんなに大変なことだとは「知らなかった」。ただそれだけ。皆も「知らない」だけなのではと思えた時に、当事者から情報を発信しようといこうと発足した。

障害がある人もない人も共に学び、共に考え、共に行動し、共に生きやすい社会生活の実現と「人が優しい、人に優しいまち」を目指して活動。

活動の内容

- ①定例会開催（毎週1回程度）。次に行うイベントの打ち合わせ、計画づくり等を行う。
- ②「第1回車いす体験研修会」を開催（2012年の9月）。
バリアフリーマップ「ハートフリーマップ（障害者が必要とするであろう情報を載せたもの）」を作成するために実施した（講師：理学療法士、作業療法士）。
- ③障害者の目線から作ったバリアフリー情報地図（B4版8つ折り）作成。
下関駅周辺の公共機関・商業施設などへのアクセス方法や所要時間、エレベーター、スロープなどの場所、専用駐車場情報、多目的トイレの設置場所、宿泊施設（バリアフリールーム）などを盛り込む。
- ④「車いすマイスター®講座」を開催。“日本初 下関から発信！”
介助が上手な人（「車いすマイスター®」と名付けた）がたくさんいたら、もっと車いすでの外出が楽になり、家族の負担も軽くなるのではと思い開催。内容は、下記のとおり。
- 受講者自らが車いすに乗ったり押したりすることで、安全面や技術面を学んでいただく。その体験を通して車いす使用者の気持ちに寄り添い、使用者目線から様々な問題を解決していく事を学び、家庭や職場、まちなかで車いす使用者のお手伝いがスムーズにできるような内容にしている。
- 「車いすマイスター®講座」は商標登録済み。講師は小倉リハビリテーション病院の先生方。テキスト版を作り、1回の講座受講者に終了証をお渡しする。これまで7回の講座で大学生から最高齢92歳の方まで約90名が誕生。この講座を通じて、障害者だけでなく、高齢者やベビーカーで出かける親子さんにも、思いやりの心をもって接していく社会が実現するのではと思っている。
- ⑤「車いすマイスター」のフォローアップ研修実施。
ステップアップ・実践編。
- ⑥福祉講座「気持ちが優くなる車いすの授業」を開催。
これまで、梅光学院高校、彦島中学校等20か所以上に出向いた。
- ⑦福祉フェスタ参加。車いすの移動のお手伝いを実施。
- ⑧「はあとふりい下関通信」発行。平成28年1月から毎月発行。活動紹介と報告。等。

これからめざしたいこと

さりげなく状況に応じた車いすの介助ができ、当事者とその家族、または友人たちと隣合せで会話を楽しみながら、外出のお手伝いができる「車いすマイスター®」が全国的に増えるように講座を増やしていく。「ハードは、ハートで変わる」と信じて、「人が優しい、人に優しいまち」をめざし、日々活動を続けていく。

